

クラウドのファイル共有機能で、他者のレポートを参考にして学びを深める

<期待される効果>

【児童・生徒】○自分のタイミングで「いつでも」「どこでも」他者のレポートを閲覧することができる。

【児童・生徒】○他者のレポートを閲覧・比較し、多様な視点を獲得することで、理解が深まる。

<学習場面>

調査活動



<機能・ツール>

【協働】

M365 : OneNote

Google : Google

Jamboard

ロイロ : シンキングツール

ミライ : ムーブノート

<モデル事例>

○教師は、児童・生徒が書き込むワークシートを全員分準備しておく。

※共同作業スペース（OneNote）を使用する。中級

○学習者は、作業の過程や結果（実験結果など）を書き込む。

他者のデータを閲覧し、過程や結果を比較して、理解を深める。

<ポイント>

○複数名で同時に一つのデータを閲覧できるので、待ち時間がない。

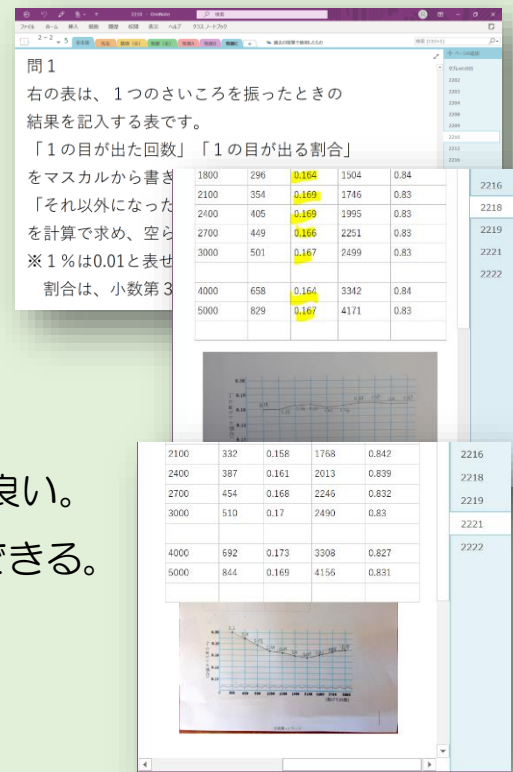
○共通点・相違点が分かりやすくなるよう、記録用紙の準備をすると良い。

○表計算アプリ（Excel）の共同編集などを活用しても、似た活動ができる。

<注意点>

○共有データが間違えて消されてしまうことがある。

※データは個人フォルダにコピーしておく方が良い。上級



<ハッシュタグ>

#調査活動 #協働学習 #ファイル共有 #一斉指導 #思考力・判断力・表現力等 #中級 #上級